

令和5年第1回定例会・一般質問

○日 時 令和5年3月9日（木）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	宮本 行雄	<p>1. 職員の人材育成について（総務課）</p> <p>第7次総合計画には、「町民と行政が協働し、持続可能な智頭町を共に作っていくことが大きな目標」とあり、第4次智頭町行財政プランでは、職員について「全体の奉仕者として法令遵守や町民の福祉増進を基本に、能力的、精神的な資質の向上が必要となります。」とある。特に、職員の町民との対応について。</p> <p>(1) 町長が、思い描かれている町民と行政の協働の具体的な取り組みについて、問う。</p> <p>(2) つぎに、町民と行政が協働していくための職員のあり方、あるいは町長が望まれる職員像について、問う。</p> <p>(3) そのために行っている人材育成に関する取り組みについて、問う。</p> <p>2. 子育てしやすいまちから人口増加へ（教育課・企画課）</p> <p>(1) 子どもを育てやすい環境づくりは、よりよい町の将来へとつながる大切な一歩である。</p> <p>人口増加につなげるさらなる取り組みやPRについての町長の考えを、問う。</p> <p>3. こども家庭庁の創設について（福祉課）</p> <p>(1) 国において、こども家庭庁が創設される。こども家庭庁の施策のなかに、相談対応や情報提供の充実、全てのこどものための施策が考えられている。智頭町では、こども家庭庁の成育部門の業務について、どのように考えているのか。</p>	9:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
2	大河原 昭洋	<p>1. 共助交通の導入について（企画課）</p> <p>すぎっ子バスに替わる新たな交通体系として、住民の自家用車を活用した共助交通「A I 乗合タクシー」が、町内全域で最終的な実証実験が行われ、令和5年4月の本格稼働に向けて準備が進められている。</p> <p>(1) 集落説明会や実証実験で新たな課題や問題点も見えてきたと思うが、4月スタートに向けて今後どのようなスケジュール感で進めようと考えているのか。</p> <p>(2) 持続性のある共助交通を進めていくためにも運転手（ドライバー）の継続的な確保が最も重要と思うがどのような対策を考えているのか。</p> <p>(3) 高校生の列車通学に支障のある運行時間になっており、本町の推進する若者定住にもまたがる課題と思うが、対策をどのように考えているのか。</p> <p>(4) 導入の背景として「すぎっ子バス」の維持費の増加により財政を圧迫しているとあるが、共助交通、スクールバス導入の試算結果は、これまでと比べどれ位のコスト削減になるのか。</p> <p>(5) 交通体系の転換により町民から大きな不安な声が寄せられている。その緩和策として、ワンボックスカーによる定時定路線型との併用運行も必要と思うがその考えはないか。</p>	9:35

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	岡田 光弘	<p>1. 安心安全なまちづくりについて (山村再生課・地域整備課・総務課) 自然災害(特に今回の雪害)への備えと対策、予防が住民の安心安全への信頼に大きく関わると認識する。</p> <p>(1) 今回の雪害での長期間にわたる停電、道路通行不可による一時的孤立などが発生したが、現状と課題認識はどうか。</p> <p>(2) 今後これらの課題解決に向けて、国や県など関係団体との連携も重要となってくると考えられる。どのように連携をとっていくのか。また道路管理と森林整備をどのように調整していくのか。</p> <p>(3) 森林経営管理制度などを活用し、所有者不明林への積極的なアプローチは考えられないか。</p> <p>2. 住民満足度向上推進について(企画課) 急激な少子高齢化、人口減少が自治体存続の大きな脅威となる中で、今この町に暮らす住民の満足度や幸福度が、危機脱却への大きなポイントとなると考えられる。これらを具体的にどうとらえて戦略的に施策に反映していこうとされているか。</p> <p>(1) 現状本町での住民満足度や幸福度をどのように把握して、どのような問題認識をしているか。</p> <p>(2) 今後、主観的な満足度を指標化して、施策の優先度、重要度に反映させる仕組みづくりが検討できないか。</p>	10:25
4	波多 恵理子	<p>1. ごみ減量化の取り組みについて(税務住民課)</p> <p>(1) 可燃ごみ減量化対策の現状と課題について問う。</p> <p>(2) くるくるプランの検証を行い、さらなる生ごみ減量化に取り組んではどうか。</p> <p>(3) 住民に向けて、ごみ減量化に取り組んでもらうための啓蒙活動を行ってはどうか。</p> <p>(4) 生ごみ減量化対策として、他の自治体では生ごみ出しません袋の無料配布であったり、コンポスト、家庭用ごみ処理機などの購入費の助成に対し強化を図られているが、本町においての考えを問う。</p> <p>(5) 百人委員会の一つであるぐるぐる循環部会の、生ごみの堆肥化の取り組みについて、どのように考えるか。</p>	11:10

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
5	西尾 寿樹	<p>1. 子どもを育てる環境・対策について (福祉課・企画課)</p> <p>(1) 先進的な対策を取っている智頭町ではあるが、出産育児一時金や出産準備金の他に出産祝い金について考えを問う。</p> <p>(2) 定住対策として、ゆめが丘団地の今後の展望について問う。</p> <p>(3) 子どもたちが走り回って遊べる、芝の公園を整備する考えはないか。</p> <p>2. 冬期の停電対策について (総務課)</p> <p>(1) 大雪による長期停電が起きた時の対応・対策をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 各集落単位での対応・対策について問う。</p> <p>(3) 避難所を開設する場合、独居の方や避難困難者への対応をどのように考えているのか。</p> <p>(4) 倒木による停電を回避するため、危険木の事前伐採を検討できないか。</p>	13:00
6	谷口 翔馬	<p>1. 若者定住対策について (企画課)</p> <p>(1) 令和4年度の出生数が激減した本町であるが、若者定住が大きな課題と考えられる。今後の対策強化をどのように打ち出していくのか町長の所見を問う。</p> <p>2. ふるさと納税について (総務課)</p> <p>(1) ふるさと納税の強化をはかっている本町であるが、伸び悩んでいる状況の中で、企業版ふるさと納税をさらに進めていく考えはないか町長の所見を問う。</p> <p>3. 住民の買い物環境について (企画課・税務住民課)</p> <p>(1) 長年住民の買い物環境を支えてきた企業が、今年撤退の方向性を示したことにより、住民の買い物環境の変化が起こることが予測される。町長が考える、今後の取り組みを問う。</p> <p>(2) 買い物レジ袋の代替えとして、本町の指定ゴミ袋を活用してはどうか、町長の所見を問う。</p>	13:35

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
7	仲井 莖	<p>1. 情報格差について（企画課）</p> <p>(1) デジタル機器の操作に不慣れで不安を抱えている町民に対しての対策は。</p> <p>(2) 持続可能な社会をつくるためには町民の主体的な参加は必須である。それには情報の共有が必要であり、情報の周知がさらに求められるが、どのような取り組みを行っていくのか。</p> <p>(3) スマートフォンの普及を進めてはどうか。</p> <p>2. 智頭町の男女共同参画について（総務課）</p> <p>(1) 今年度で終了期間となる第4次男女共同参画プランに対しての取り組みの成果と課題について。</p> <p>(2) 第5次男女共同参画プランの実施にあたって新たな取り組みは。</p>	14:15

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。